

調査員に一定の理解

イコモス調査で文化庁などが会見

会見には文化庁と県教委、当町と一関市、奥州市の担当者ら7人が出席。調査を担当したスリランカのイコモス国内委員会委員のジャガス・ウィーラシン

ハさんは、構成資産の評価などについて守秘義務があるため、出席しませんでした。文化庁の内藤記念物課長は調査の概要報告で、昨年12月にユ



中尊寺経蔵の調査で山田貫首（中央左隣）らの説明を受けるイコモス調査員のウィーラシン八さん（中央）= 8月27日

ネスコに提出した推薦書を補足する追加資料をウィーラシン八さんに示し、分かりやすく丁寧に説明したと報告。やるべきことはすべてやった。重要要素と考える遺産全体の価値、保存管理について一定の理解をしていただけたと思う。イコモスにも平泉の価値を十分に伝えていただけの期待して

◎高橋町長のコメント
「調査が順調に終了し安堵している。調査前に景観整備などに町民が一丸となつて取り組んだことが大きな成果。今後もやるべきこと、できることを進めていきたい」



イコモスによる現地調査の概要を報告する文化庁、県教委、3市町の関係者

来年7月の世界遺産登録を目指す「平泉—浄土思想を基調とする文化的景観」に対する、ユネスコの諮問機関・イコモス（国際記念物遺跡会議）による現地調査が8月27日から29日まで3日間の日程で行われ、文化庁や県教委関係者らは8月30日、一関市役所で合同記者会見を開きました。文化庁の内藤敏也記念物課長は「調査員に一定の理解を得られたと思う」との見解を述べました。

コラム 浄土思想とは

イコモスによる現地調査では、調査員のウィーラシン八さんから「浄土思想を含めた平泉全体の価値を一般の方々に分かりやすく伝えていく努力が必要」との指摘がありました。ここでは「浄土思想」について考えてみましょう。そもそも浄土とは何でしょうか。宗教的には

楽浄土を描いています。極楽浄土には、翼状の廊下を持つ宮殿が建っていると考えられていたのです。その様子は、まさしく無量光院（図2）と同じです。つまり藤原氏は、物質的にも現世に極楽浄土を造ろうとしていたことがうかがい知れます。ではその浄土世界とはどのようなところだったのでしょうか。中尊寺に残る『供養願

文』によれば、生きとし生けるものすべてが、苦しみをなくし、楽を与えられ、恨みを忘れた平等な社会、ということ。私たち平泉の住民は、藤原氏の遺志を継ぐものとして、これらをより理解し、これからも伝えてゆかねばなりません。世界遺産登録は、これらを世界にアピールできる最大のチャンスなのです。

さまざま浄土がありますが、その中でも最も一般的なものは、西方極楽浄土でしょう。その様子を描いたもの（図1）が、京都のお寺に残っていました。平泉の時代よりもやや後のものですが、当時の宇宙観がよく表れています。右下に私たちが住んでいる現世である娑婆世界、左下に地獄、そして海のようなところを隔てた正面に極



【図1】地獄極楽絵図の写し



【図2】コンピュータグラフィックスで復元した無量光院

「平泉」世界遺産フォーラム

講演と対談で世界遺産への理解を深めます。対談では、国内の世界遺産登録先進地の担当者が一堂に会し、世界遺産を生かした魅力あるまちづくりについて意見を交わします。

日 時…11月4日（日） 10:00～15:00

場 所…平泉小学校体育館

テーマ…「平泉」を未来へつなぐ

日程・内容

- 10:00～10:25 【第1部】仕舞「秀衡」…佐々木邦世さんほか
- 10:25～10:30 主催者あいさつ
- 10:30～11:30 【第2部】世界遺産講演
 - ◇講師…イーデス・ハンソンさん
 - ◇テーマ…「世界遺産地域に移り住んで」
- 11:30～12:30（昼食休憩）
- 12:30～15:00 【第3部】パネルディスカッション

- ◇コーディネーター 矢野和之・日本イコモス国内委員会事務局長
- ◇パネリスト
 - ▷北田栄造・京都市文化財保護課普及調査係長（古都京都）
 - ▷近藤久善・白川村教育委員会文化財係長（白川郷）
 - ▷宮原 優・紀北町企画課係長（紀伊山地）
 - ▷宮津直倫・羅臼町環境管理課参事（知床）
 - ▷仲野義文・大田市石見銀山資料館長（石見銀山）
 - ▷千葉喜一・平泉町世界遺産推進室長（平泉）

定 員…600人（参加費無料）
申し込み方法…住所・氏名・電話番号・人数を明記の上、はがき、電話、ファクス、電子メールのいずれかでお申し込みください。
申し込み・問い合わせ先…世界遺産推進室
〒029-4192 西磐井郡平泉町平泉字志羅山45-2
☎46-2218 FAX46-3080
✉sekaiisan@town.hiraiizumi.iwate.jp